



公益財団法人結核予防会
 複十字シール運動キャラクター「シールぼうや」

結核に関するお知らせ

結核は過去の病気ではなく、今でも重大な感染症です！

結核は、医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、今でも1日に43人の新しい患者が発生し、6人が命を落としています。発見が遅れて悪化した状態で発見されると入院が必要になる場合がありますので、早期に発見することが大事です。

本市の特徴

本市の結核罹患率は、政令指定都市の中で4番目に高い状況です。
 全国と比較すると20代及び高齢者の罹患率が特に高く、近年では外国生まれの学生が慣れない日本の生活で発病する事例が目立っています。

結核の主な症状は？

せき・たん・発熱・胸の痛み・だるさ・体重減少

※結核の症状はかぜと間違われることがあります。
 「2週間以上せきが続く」「かぜと思ったけどなかなか治らない」時は結核を疑い、呼吸器を専門とする医療機関にご相談下さい。

どうやって感染するの？

結核は空気感染します。結核が進行した患者さんの「せき」や「くしゃみ」と一緒に空気中に飛んだ結核菌を吸い込むことで感染します。

＜年齢階層別の新登録患者の割合＞

(H30年)	全人数	再掲	
		外国生まれの人数(人)	外国生まれの割合(%)
10歳未満	0	0	0
10歳代	5	4	80.0
20歳代	47	36	76.6
30歳代	27	10	37.0
40歳代	29	4	13.8
50歳代	27	5	18.5
60歳代	51	2	3.9
70歳代	70	0	0.0
80歳代	136	2	1.5
90歳以上	45	0	0
計	437	63	14.4

学校で早期発見に必要なことは？

- (1) 定期健康診断の実施
- (2) 症状があるときの早期受診

名古屋市の結核については、ホームページもご参照下さい。

※ 結核に関することは各保健センターにご相談下さい。

名古屋市 結核

検索



＜名古屋市健康福祉局健康部感染症対策室＞